

◎ 基本理念及び基本方針

基本理念

あらゆる人々に開かれた交流・協働・創造の拠点

～文化芸術活動と民間非営利活動の融合による豊かな社会の実現～

基本方針 1

日常的な交流の場の創出

基本方針 2

様々な主体の協働の場の創出

基本方針 3

創造性を喚起し発揮することができる場の創出

◎ 整備予定地の概要



徒歩でお越しの場合

- ▶ JR宮城野原駅から約1分（直結）
- ▶ JR仙台駅から約20分（約2km）

車でお越しの場合

- ▶ 仙台東IC（仙台東部道路）から約13分
- ▶ 長町IC（仙台南部道路）から約15分

電車でお越しの場合

- ▶ 仙台駅からJR仙石線で宮城野原駅まで約4分

宮城県民会館・みやぎNPOプラザ複合施設について

◎ 施設の概要

延床面積	約22,200㎡（現県民会館の約1.8倍）	敷地面積	約53,000㎡
構造（想定）	鉄骨鉄筋コンクリート造（地下1階地上5階）		

区分	諸室	機能
ホール部門 （約8,000㎡）	大ホール	<ul style="list-style-type: none"> 固定席で最大2,300席【東北最大級】 プロセニウム形式、多面舞台（3面以上） 曲線的に舞台を包み込む客席
創造・育成・連携拠点部門 （約4,700㎡）	スタジオシアター	<ul style="list-style-type: none"> スタンディングで最大800人収容 多目的に利用可能な平土間形式、電動可動席を整備
	スタジオA・B・C	<ul style="list-style-type: none"> 異なる広さを整備（Aは200～300人収容） リハーサル、練習・稽古、作品制作、発表会・展示会、会議など、様々な用途で利用可能
交流・コミュニティ部門 （約2,800㎡）	ギャラリー・アトリエ	<ul style="list-style-type: none"> 様々な文化芸術活動、作品展示に対応可能な広さを確保
	エントランスロビー	<ul style="list-style-type: none"> 様々な主体が交流できる広さを確保 ロビーコンサートや作品展示等により、日常的に文化芸術に触れる機会を確保
	アートライブラリー、会議室、カフェ等	<ul style="list-style-type: none"> 県内、国内外の文化芸術情報を発信 様々な主体が共用で利用可能 来場者が心地よく過ごせる空間を確保
民間非営利活動部門 （600㎡）	交流サロン、NPO ルーム、相談室、 共同作業室	<ul style="list-style-type: none"> 中核拠点機能としてNPOやその活動を支援できる機能を確保（現施設の機能を踏襲）
管理運営部門 （約6,100㎡）	事務室、 機械室等	<ul style="list-style-type: none"> 維持管理のしやすい仕様を確保

宮城県民会館・みやぎNPOプラザ複合施設について

◎ 事業スケジュール



◎ 事業費

約 250 億円

- ※ 近年国内で整備された類似施設の工事費等を参考に算出。
- ※ 交付税措置のある地方債や国庫補助金など、財政支援制度の活用を更に検討し、県の実質負担を圧縮。